



関屋猛久 教士八段

せきや・たけひさ／昭和46年愛知県生まれ、48歳。星城高校卒業後、東レ名古屋に入社。全日本都道府県対抗剣道優勝大会10回出場（準優勝2回）、全日本東西対抗剣道大会出場。昨年11月の八段審査で合格率0・4%の壁を越えて合格。現在、東レ名古屋に勤務するかたわら星城大学剣道部男子監督として学生を指導する。

東 良美 範士八段

ひがし・よしみ／昭和32年鹿児島県生まれ、63歳。鹿児島商工高校（現樟南）から法政大学に進み、卒業後、愛知県警察に奉職する。全日本選抜八段大会優勝、全日本選手権大会ベスト8、全日本東西対抗大会出場、全国警察大会二部優勝など。愛知県警察教養課術科室長・剣道主席師範を最後に退職。現在、愛知県警察名誉師範、星城大学剣道部師範、ネットトヨタ名古屋剣道部師範。

中心を制するための稽古 相手を凌駕する剣道を求め続ける

東レ名古屋に所属する実業団剣士であり、星城大学剣道部男子監督の関屋教士は昨年11月、見事、八段審査に合格した。同大学剣道部師範の東良美範士に師事し、学生を指導するとともに打ち込み稽古を繰り返した。中心を制するには、相手を凌駕する気迫が必要であり、その気迫は地道な打ち込み稽古を繰り返すことで養っていた。

撮影＝西口邦彦